

名古屋市SDGs債と第三者評価を受けた3つの政策の関係性

名古屋市の起債と「名古屋市総合計画 2023」との関係性：「名古屋市総合計画 2023」の実現を通じて、SDGs の達成をめざす

名古屋市（自治体）の取り組みについて



地方債が活用可能な事業内容について

地方財政法第5条各号その他の
法令の規定により、地方債を
財源とすることができる事業に制
約あり

SDGsの達成に資するという具体
的な目標・KPI を掲げつつ、起債
運営については**資金使途に制約を
設けない**手法を採用

名古屋市SDGs債の商品性

	通常のSDGs債	名古屋市SDGs債
ICMA原則	準拠	準拠せず
資金使途	制約あり	制約なし
レポート	資金使途（指定事業別）	発行体の掲げる事業別
第三者評価	フレームワークに付与	事業運営方針に付与
目指す成果	ESG/SDGsへの貢献	

- ✓商品性は従来の名古屋市債と同一
- ✓「名古屋市総合計画 2023」では5つの目指す都市像と4つの重点戦略を設定。施策・事業についてはSDGsの考えを取り入れた基本目標・KPI 等を設定
- ✓R&I 社より総合計画等は SDGs の達成に資するものと第三者評価を取得済み
- ✓一方で、資金使途については、既に地方債発行により活用可能な事業は法制度上の制約が存在しており、円滑な資金調達と事業運営の観点から、更に調達資金充当先の制約を設ける手法は採用せず

名古屋市SDGs債のフレームワーク

✓ 名古屋市SDGs債のフレームワークは以下4項目より構成

<p>I. 調達資金の用途</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地方財政法第5条各号その他の法令の規定により地方債を財源とすることができる事業であること ✓ 特定の特定の事業・プロジェクトへの資金用途の制約を設けることはしない
<p>II. プロジェクトの評価と選定のプロセス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地方公共団体は、法令等にしたがって、起債することができる内容、充当できる内容が定められており、事前に総務省への届け出・協議等が必要 ✓ 予算に従って起債することができ、予算については年度開始前に議会の議決を経る必要がある ✓ 予算編成等の過程において対象事業の実現性や効果の持続性について検証 ✓ 予算編成においても、「名古屋市総合計画2023」に掲げる重点戦略に優先的に配分し、予算編成を行っている ✓ これらにより、対象事業の評価・選定プロセスに関して、ガバナンスの面からも適正性を確保
<p>III. 調達資金の管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 調達資金は、経理区分に応じて分類するなど、資金用途を明確にしながら管理 ✓ 調達資金は、原則として当該年度中の対象事業に充当
<p>IV. レポーティング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 毎年度、名古屋市総合計画2023等に掲げる施策について数値目標の達成度、各施策の取り組み状況やKPI（重要業績評価指標）の達成度を把握するとともに、まちの質・くらしの質を示す客観的指標、さまざまなデータも踏まえながら、課題の抽出や改善を実施 ✓ また、社会経済情勢などの外部環境に大きな変化が生じた場合には、見直しの検討を行い、柔軟に対応 ✓ 毎年度、達成状況等を踏まえさらなる推進に向けて外部有識者による会議で議論するなど、検証の結果を市HP等で公表する

名古屋市総合計画2023について

- ✓ 令和8（2026）年の第20回アジア競技大会の開催[※]と令和9（2027）年のリニア中央新幹線（品川－名古屋間）の開業を飛躍のチャンスと捉え、市政を総合的かつ計画的に運営していくため、2030年頃を見据えた将来のまちの姿を描くとともに、その実現に向けて取り組む施策と事業をまとめた総合計画
- ✓ 計画期間：2019年度～2023年度

目指す都市像

都市像 ①

人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち

都市像 ②

安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち

都市像 ③

人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち

都市像 ④

快適な都市環境と自然が調和したまち

都市像 ⑤

魅力と活力にあふれ世界から人や企業をひきつける、開かれたまち

重点戦略

戦略 ①

子どもや親を総合的に支援し、未来を担う人材を育てます

- ✓ 未来を担う人材が育つ！「子ども・若者応援戦略」
- ✓ 安心して子育てできる！「子育て応援戦略」

戦略 ②

みんなにやさしい福祉を実現し、元気に活躍できるまちづくりを進めます

- ✓ 長寿社会を安心に！「健康・安心戦略」
- ✓ 誰もが活躍！「ダイバーシティ推進戦略」
- ✓ みんなでつくる！「地域コミュニティ活性化戦略」

戦略 ③

災害から命と産業を守り、安心・安全な暮らしを確保します

- ✓ 備えを万全に！「地域防災戦略」
- ✓ 災害に強く！「災害対応力向上戦略」
- ✓ 安心して暮らせる！「暮らしの安心・安全戦略」

戦略 ④

強い経済力を基盤に、にぎわいと新たな価値を創出し、環境と調和した都市機能を強化します

- ✓ 来たれアジア！リニア！「都市機能強化戦略」
- ✓ 持続可能な未来へ！「環境都市推進戦略」
- ✓ 交流を促進し新たな価値を創出！「イノベーション戦略」
- ✓ 魅力資源の磨き上げ！「魅力向上・発信戦略」

※第5回アジアパラ競技大会についても、愛知・名古屋で開催されることが、令和4年4月に決定された。

名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- ✓ 基本的な考え方：「日本の地方創生を牽引する成長エンジン、名古屋大都市圏を目指す」
- ✓ 『「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻し、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境をつくり出す
- ✓ 計画期間：～2023年度

<p>基本目標 ①</p> <p>産業競争力を活かして 成長を続けるまちへ</p>	<p>基本目標 ②</p> <p>観光交流の推進による にぎわいのあふれるまちへ</p>	<p>基本目標 ③</p> <p>若い世代の希望がかなうまちへ</p>	<p>基本目標 ④</p> <p>高齢者がはつらつとして 暮らせるまちへ</p>
<p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ イノベーションの創出 ✓ 地域産業の持続的成長による域内経済の活性化 	<p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ インバウンドの推進およびMICEの誘致による圏域の活性化 	<p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり ✓ 若者が活躍できる環境づくり 	<p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域での支え合いの仕組みづくりと地域包括ケア
<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 法人事業所数： 101,090⇒109,500 (H30年度⇒R5年度) ✓ イノベーション創出件数： 262件 (H30年度) ⇒ 980件 (5カ年) 	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 観光総消費額： 3,656億円⇒6,000億円 (H29年⇒R5年) ✓ 観光客の満足度： 78.2%⇒90% (H29年⇒R5年) 	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 子育てしやすいまちだと思ふ市民の割合： 79.8%⇒83% (H30年度⇒R5年度) ✓ 若い世代 (0~24歳) の転入超過数： 9,277人⇒11,000人 (H30年度⇒R5年度) 	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 生きがいや楽しみを持って生活していると感じている高齢者の割合： 79.1%⇒81% (H30年度⇒R5年度) ✓ 就労や地域活動・ボランティア・NPO活動等に参加している高齢者の割合： 46.4%⇒50% (H30年度⇒R5年度)

名古屋市SDGs未来都市計画

- ✓ 名古屋市は令和元年7月1日に内閣府より「SDGs未来都市」に選定
- ✓ 名古屋市総合計画2023に掲げた令和12（2030）年のあるべき姿をめざし、長期的な展望に立ったまちづくりを強力に推進することで、経済・社会・環境が調和した誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを実現する
- ✓ 計画期間：2022年度～2024年度

SDGs未来都市計画(概要)

2030年のあるべき姿に向けた優先的なゴール

<p>【経済】 交流を促進し新たな価値を創出！ 「イノベーション戦略」</p> <p>KPI</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昼間就業者一人当たり市内総生産 9,174千円 → 11,000千円 (2018年度) (2028年度) ● イノベーション創出件数 608件 → 2,380件 (2018～2020年度までの累計) (2030年までの累計(12か年)) 	
<p>【社会】 来たれアジア！リニア！ 「都市機能強化戦略」</p> <p>KPI</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主要駅の乗客数 107万人/日 → 115万人/日 (2019年度) (2029年度) ● 観光総消費額 2,089億円 → 10,000億円 (2020年) (2030年) 	
<p>【環境】 持続可能な未来へ！ 「環境都市推進戦略」</p> <p>KPI</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温室効果ガス排出量 1,391万t-CO₂ → 1,172万t-CO₂ (2018年度) (2030年度) ● ゴミの処理量 58.8万トン → 56万トン (2020年度) (2030年度) 	

経済・社会・環境の三側面の取組

ナゴヤイノベーターズガレージ

起業や団体、大学や行政機関が一丸となって新規産業創出に向けて活動する場所としてナゴヤイノベーターズガレージを運営

CENT Pitch

「CENT Pitch」では、新規産業創出に取り組むベンチャー企業が仲間集めや資金調達を目的にプレゼンを実施

アジア・アジアパラ競技大会

スポーツの振興や国際交流の促進、共生社会の推進など幅広い施策の推進につなげるため、2026年開催のアジア・アジアパラ競技大会に向けた取組を実施

リニア開通に向けて

リニア中央新幹線開業の効果を最大限発揮するため、名古屋駅のスーパーターミナル化や、栄などの拠点性の向上に加え、拠点間ネットワークの強化を推進

燃料電池自動車の導入

太陽光発電やZEHの導入促進など、再生可能エネルギーの導入拡大や燃料電池自動車・バスの導入促進等により水素エネルギーの利活用推進

生物多様性の取組促進

COP10開催都市として、市民協働による身近な自然の調査・保全活動や、市民・事業者の生物多様性に配慮した行動を促す取組を推進



関連項目の詳細

名古屋市総合計画 2023 —世界に冠たる「NAGOYA」へ—	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000121814.html	
名古屋市総合計画 2023 進行管理	https://www.city.nagoya.jp/shisei/category/66-9-2-0-0-0-0-0-0.html	
名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000080550.html	
名古屋市SDGs未来都市計画	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000119688.html	
SDGsに関する第三者評価		